

文部科学省委託調査研究 URA ワークショップ 「大学等の個性を反映した URA システムの確立に向けて」 募集要項

このたび、株式会社三菱総合研究所は、文部科学省委託調査研究「URA システム¹強化に向けた諸課題に関する調査」の一環として、URA を有する大学等の機関をお招きした実践型ワークショップ「大学等の個性を反映した URA システムの確立に向けて」（以下、本ワークショップ）を開催いたします。URA を配置されている大学等の機関には、是非ご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

1. 背景・目的

大学等²に対する社会からの期待の高まりに伴って、大学等の諸機能を一層高度化することが求められています。大学等の諸機能を高めるためには、教員・研究者による教育・研究・社会貢献への取り組みはもちろんのこと、それを支える経営基盤の確立、事務機能の強化が必要と指摘されており、特に経営や事務を担う専門的人材の確保・活用が不可欠との認識が広がっています。

URA システムは、大学等における専門的人材の確保・活用を推進するための重要なモデルケースでもあり、URA システムを各大学等で確立することは、今後の大学等の経営にとって極めて重要な意味を持ちます。こうした中、文部科学省は専門的人材の1つとしてURA の関連事業を数年前から展開し、結果としてURA の配置は量的に大きく拡大しました。一方で、予算・人材確保の困難に直面し、学内 URA システムの維持にも課題を抱える大学等も依然として存在しているのが現状です。

こうした背景の下、本ワークショップでは、URA や URA システムに様々な問題を抱えている大学等のマネジメント層の方々にご参加いただき、集中的なディスカッションや課題への取り組みを通じて、URA システムの確立・強化に向けた具体的な道筋を機関自身によって模索・構築いただくことを目指します。

¹ ここでの「URA システム」とは、URA 人材や URA が所属する組織構造に留まらず、能力の高い人材を URA として確保し、それら人材が十分に能力を発揮するための持続的・自立的な機関内部の仕組み全般（経営戦略での位置づけ、予算、人事制度、組織体制など）を指すものとします。また、本ワークショップは大学以外の大学共同利用機関法人や高等専門学校も対象としますが、それら機関に所属するリサーチ・アドミニストレータも含めて、本募集要項の中では「URA」と呼ぶものとします。

² ここでの「大学等」とは、大学、大学共同利用機関法人、高等専門学校を含むものとします。

2. 開催概要

2.1 開催日時・会場

本ワークショップは、大きく分けて「A 日程」「B-1 日程」「B-2 日程」「共通日程」により構成され、原則として以下の日程パターンのいずれかでご参加いただきます。

表 1 各機関にご参加いただく基本的な日程パターン

パターン 1:「A 日程 + 共通日程」
パターン 2:「B-1 日程 + 共通日程」
パターン 3:「B-2 日程 + 共通日程」

(注) 「共通日程」は、一般参加(大学等関係者)も募集するシンポジウムと同時開催する予定です。詳細は 4.2、4.5(4) をご覧ください。

各日程とも扱うテーマは同一ですが、募集対象となる機関が異なります。各日程での募集対象は以下のとおりですので、これをよくご確認のうえ、応募をご検討ください。

表 2 各日程において募集対象となる機関

日程	募集対象となる機関
パターン 1 : 「A 日程 + 共通日程」 (<u>経営管理・支援型</u>)	将来的に URA の職務範囲を拡大・高度化し、機関経営を支える高度人材と位置づけることを検討している機関。
パターン 2 : 「B-1 日程 + 共通日程」 (<u>医療系特化型</u>)	治験や医学研究のコーディネート、規制・倫理などを踏まえた医学研究成果の実用化などを担う「医療系 URA」の確保・活用に関心を持つ機関。
パターン 3 : 「B-2 日程 + 共通日程」 (<u>特定業務専門型</u>)	特定の業務 (例えば IR、研究広報、技術移転など) の専門性を有する事務系の人材として URA を位置づけようと考えている機関。

各日程パターンのワークショップ開催日時は以下のとおりです (各開催日の時間は若干変更される可能性があります)。各日程パターンの大まかな構成については「図 1 各日程のプログラム構成」でご確認ください。

(1) パターン 1 : 「A 日程 + 共通日程」 (経営管理・支援型)

- 1st, 2nd セッション : 2017 年 1 月 14 日 (土) 14:30-18:00
※18:30 より懇親会を開催予定 (任意参加)。
- 3rd セッション : 2017 年 1 月 15 日 (日) 10:00-12:00
- 4th セッション : 2017 年 3 月 25 日 (土) 13:00-17:00

(2) パターン2:「B-1 日程+共通日程」(医療系特化型)

- 1st, 2nd セッション: 2017年1月21日(土) 13:00-16:30
※17:00より懇親会を開催予定(任意参加)。
- 3rd セッション: 2017年1月22日(日) 10:00-12:00
- 4th セッション: 2017年3月25日(土) 13:00-17:00

(3) パターン3:「B-2 日程+共通日程」(特定業務専門型)

日時はパターン2:「B-1 日程+共通日程」(医療系特化型)と同一です。

なお、各日程での開催場所は現在調整中です(都心近郊を予定しております)。開催場所が決定次第ご連絡いたしますので、ご容赦くださいませ。

2.2 ワークショップの内容

ワークショップでは、URA システムに関する先進的な取り組みを行っている大学の関係者による講演、他参加者とのディスカッションなどを行っていただきます。さらに、ワークショップをより有意義なものとするため、ワークショップ開催前後に事前・事後課題に取り組んでいただくことも予定しております。

また、2017年3月25日にはワークショップの「共通日程」部分を開催予定ですが、同日程は、一般参加(大学等関係者)も募集するシンポジウムと共同開催する予定です。これらの詳細は「4. プログラム詳細」をご覧ください。

2.3 募集対象

2.3.1 応募条件

- 現時点で、URA を配置している大学等(国公立大学、大学共同利用機関法人及び国公立高等専門学校)であること。
- URA システムだけでなく、機関全体の視点から議論・発表のできる方(特に、副学長・理事クラスのマネジメント層を中心とした、機関全体の戦略、予算配分、人事制度などのテーマで議論ができる方を想定しています。)
- 希望する日程パターンの全セッションに参加可能な方(開催日時は「2.1 開催日時・会場」を参照ください。)

<参加申込の際のご注意>

- 各日程パターンの中で実施されるセッションに参加できる方は各機関から原則1名のみとさせていただきます。ただし、オブザーバ参加(講義の聴講、議論・発表の見学が可能)を1名まで可能といたします。
- 各機関から複数の日程パターンへ参加申込することも可能です。ただし、パターン2、パターン3は同時開催のため、両方に参加したい場合は少なくとも1名ずつ参加者を確保ください。

2.3.2 募集定員

- パターン1：「A 日程 + 共通日程」（経営管理・支援型）：20 機関
- パターン2：「B-1 日程 + 共通日程」（医療系特化型）：10 機関
- パターン3：「B-2 日程 + 共通日程」（特定業務専門型）：10 機関

2.4 申込方法

- ご案内メールに添付の「申込フォーム.xlsx」に必要事項をご記入のうえ、以下の電子メールアドレスまでご送信ください。
 - ✓ 電子メールアドレス：ura-workshop-ml@mri.co.jp
- **申込〆切：2017年1月5日(木) 12:00 まで**にご連絡いただければと思います。
- 会場およびグループ分けの都合上、**募集定員を超えた場合は、原則として先着順で締め切らせていただきます。**（先着順で募集定員から漏れてしまった場合には、2017年1月6日（金）15:00 までにその旨お伝えいたします）。

2.5 その他

- 本ワークショップ内での各機関のご発言内容について、機関が特定される形で公表されることはありません。また、ご提出いただいた資料などを公開されることもありませんので、可能な限り積極的なご議論や情報提供をお願い致します。
- ワorkshop参加費は無料です。ただし、交通費・宿泊費などの費用は参加者のご負担となります。また、宿泊される場合には参加者ご自身で手配をお願い致します。
- 「A 日程」「B-1 日程」「B-2 日程」の1日目の最後には懇親会を予定いたしております。ご都合がよろしければぜひご参加ください。
 - ✓ 参加費：3000 円（予定）
 - ✓ 会場：株式会社三菱総合研究所 会議室
- 4th セッションが含まれる「共通日程」は、一般参加も募集するシンポジウムと共同開催する予定です。詳細は、4.2 および 4.5(4) をご覧ください。

3. 問い合わせ先

本ワークショップに関するお問い合わせは以下までお願いいたします。

問い合わせ先	株式会社三菱総合研究所 科学・安全事業本部 産業イノベーション戦略グループ (担当：加納、山野)
電話番号	03-6705-6051
電子メールアドレス	ura-workshop-ml@mri.co.jp

4. プログラム詳細

本ワークショップは、機関の属性に応じて日程パターンを3種類用意しており、事前・事後課題と当日のディスカッションが中心となる実践的な内容となっております。ワークショップを爽り多いものとするためにも、下記詳細をよくご確認いただき、貴機関に適した参加パターンを選択の上、積極的な議論・取り組みをお願い致します。

4.1 全体構成

本ワークショップは、大きく分けて「A 日程」「B-1 日程」「B-2 日程」「共通日程」により構成されます。各機関には、以下の日程パターンのいずれかでご参加いただきます。また、ディスカッションの円滑化・充実化を図るため、可能な限り全体を通じて同一の方にご出席いただきますようお願いいたします（止むを得ず、いずれかの日程に参加できなくなった場合には、可能な限り代理の方を立てていただくようお願いいたします）。

表 3 各機関にご参加いただく基本的な日程パターン

<u>パターン 1:「A 日程 + 共通日程」</u>
<u>パターン 2:「B-1 日程 + 共通日程」</u>
<u>パターン 3:「B-2 日程 + 共通日程」</u>

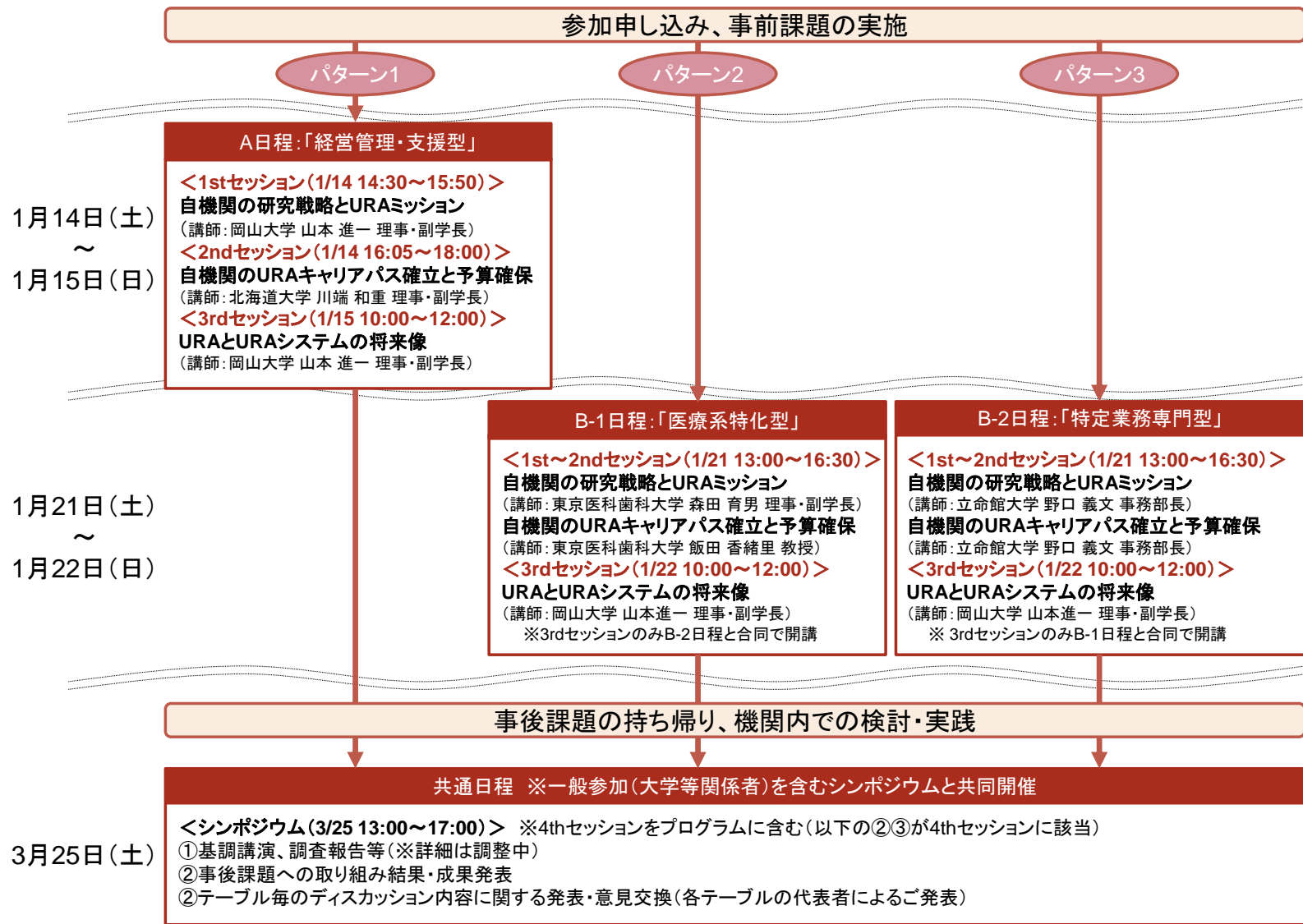
(注) 「共通日程」は、一般参加(大学等関係者)も募集するシンポジウムと同時開催する予定です。詳細は 4.2、4.5(4) をご覧ください。

「A 日程」「B-1 日程」「B-2 日程」は1月の週末2日間（1/14～15または1/21～22）に渡る集中的な議論の場です（いずれの日程も 1st～3rd の3セッションで構成されます）。各日程とも扱うテーマは同一ですが、募集対象となる機関が異なります。各日程での募集対象は以下のとおりですので、これを良くご確認の上、応募をご検討ください。

表 4 各日程において募集対象となる機関

日程	募集対象となる機関
パターン 1： 「A 日程+共通日程」 (<u>経営管理・支援型</u>)	将来的に URA の職務範囲を拡大・高度化し、機関経営を支える高度人材と位置づけることを検討している機関。
パターン 2： 「B-1 日程+共通日程」 (<u>医療系特化型</u>)	治験や医学研究のコーディネート、規制・倫理などを踏まえた医学研究成果の実用化などを担う「医療系 URA」の確保・活用に関心を持つ機関。
パターン 3： 「B-2 日程+共通日程」 (<u>特定業務専門型</u>)	特定の業務（例えば IR、研究広報、技術移転など）の専門性を有する事務系の人材として URA を位置づけようと考えている機関。

申込可能な各日程パターンの大まかな構成を図 1 に示します。「A 日程」「B-1 日程」「B-2 日程」のいずれをご希望いただいても構いませんが、原則として 3 月の「共通日程(4th セッション)」には全ての機関がご参加くださいますようお願いいたします。



(注1) 上図の3つの矢印が、選択可能な3つの日程パターンを表します。いずれかを選択してお申込ください(複数の日程に申し込んでも可能ですが、パターン2、パターン3は同時開催ですので、この2つに参加を希望される場合は、それぞれ個別に参加者を確保してください)。

(注2) 「共通日程」は一般参加者(大学等関係者)も募集するシンポジウムと共同開催となる予定です。詳細は4.2、4.5(4)をご覧ください。

(注3) 各セッションのタイトル、講師は予定であり、若干変更になる可能性がありますので、ご了承ください。

図1 各日程のプログラム構成

4.2 各日程で実施されるセッションの詳細

前述のとおり、「A 日程」「B-1 日程」「B-2 日程」は募集対象となる機関の属性が異なりますが、その中で実施する 1st～3rd セッションのテーマはほぼ同一です。各セッションで扱うテーマの内容は以下のとおりです。

表 5 各セッションの目的と扱うテーマ

セッション	セッションの目的	ディスカッションのテーマ
1st セッション： 自機関の研究戦略と URA ミッション	<ul style="list-style-type: none"> ・ URA の役割が貴機関の経営・研究戦略との関係の中で明確に位置付けられること。 ・ その役割を担う人材の要件が明確になること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ URA の役割とはどうあるべきか？それは機関の特徴によってどの程度の多様性があるか？ ・ URA の役割は（予算を確保できるほど）学内で説得力を持つか？
2nd セッション： 自機関の URA キャリアパス確立と予算確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ （貴機関が定義した）URA の役割を担う質の高い人材を確保・育成するため、予算確保や人事制度（キャリアパス）整備などに取り組む目処を付けること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ URA にはどのようなキャリアパスを用意すべきか？ ・ 任期なしポストは必要か？ ・ URA の財源をどう確保すべきか？
3rd セッション： URA と URA システムの将来像	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貴機関 URA の現状とあるべき姿（将来像）、およびそのギャップを明確化すること。 ・ そのギャップを埋めるため、機関経営層の取り組むべき事柄を具体化すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各機関で、URA の現状とあるべき姿にどの程度ギャップがあるか？ ・ ギャップを埋めるために経営層は何に取り組む必要があるか？
4th セッション： 事後課題の取り組み結果発表・ディスカッション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各機関での事後課題の検討結果を共有し、貴機関の今後の取組へ活用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ URA のあるべき姿を実現するため、各機関ではどのような検討がなされたか？ ・ なお残されている課題は何か？それを解決する糸口はあるか？

(注) 各セッションのタイトル・テーマは予定であり、若干変更になる可能性がありますので、ご了承ください。

なお、4th セッションを含む 2017 年 3 月 25 日の「共通日程」は、一般参加(大学等関係者)も募集するシンポジウムと同時開催する予定です。一般参加の募集については、2 月下旬頃開始を予定しています。シンポジウムのプログラム構成については 4.5(4) をご覧ください。

4.3 事前・事後課題

4.3.1 事前課題

ワークショップ参加前に、各セッションに対応して表 6 の事前課題にそれぞれ取り組んでいただきますようお願い致します。事前提出いただく必要はありませんが、当日のディスカッションの効果を高めるため、十分にご準備・検討くださいますようお願いいたします。また、当日のディスカッションでは、ご検討いただいた内容を他参加者の方々と適宜共有いただけますよう、お願いいたします。

表 6 1st～3rd セッションの事前課題

課題番号	セッション	事前課題
1	1st セッション： 自機関の研究戦略と URA ミッション	以下について、貴機関における現状の振り返り・整理をお願い致します。 <ul style="list-style-type: none">・ 貴機関 URA の役割・位置付け・ 貴機関の戦略文書（経営戦略、研究戦略など）と URA の役割の関係（どのような戦略の実現に URA が必要とされているか）・ 貴機関の外部・内部環境と URA の役割の関係（貴機関の強み・弱み・機会・脅威のどこに URA が貢献することを期待しているか）
2	2nd セッション： 自機関の URA キャリアパス確立と予算確保	以下について、可能な限り定量的な情報を含めて貴機関の状況をご確認ください。 <ul style="list-style-type: none">・ 貴機関 URA に関わる人事制度、キャリアパス・ 貴機関 URA の量・質に関する課題・満足度・ 貴機関 URA の募集・採用状況（望ましい人材を採用できているか）
3	3rd セッション： URA と URA システムの将来像	以下について、貴機関の方針・お考えをご検討ください（もしくは、当日参加される方個人のご意見でも構いません）。 <ul style="list-style-type: none">・ 貴機関が考える URA の「あるべき姿（将来像）」・ URA の「あるべき姿（将来像）」を実現する上での貴機関の課題（特に予算確保以外の課題について）

4.3.2 事後課題

1st～3rd セッションでのディスカッションを踏まえて、以下について学内でご検討ください。その検討結果や、検討により明らかとなった問題などについては、3月開催の4thセッションでご発表・ディスカッションしていただきます。課題の詳細などについては、3rdセッションの最後にご説明いたします。

表 7 1st～3rd セッションを受けての事後課題

- 貴機関 URA の「あるべき姿（将来像）」実現に向けた、機関内における種々の取り組み（財源確保、人事制度見直しなど）の必要性を、機関内で説明・説得するための資料
- 貴機関 URA の現状と「あるべき姿（将来像）」のギャップを埋めるためのアクションプラン

4.4 講師プロフィール

1st～3rd セッションで扱うテーマと、各日程で予定されている講師は 4.5 のタイムスケジュールをご覧ください。また、各講師のプロフィールは以下のとおりです。

山本 進一(やまもと しんいち)

岡山大学理事・副学長



1984年京都大学大学院農学研究科博士後期課程林学専攻 修了、博士（農学）。岡山大学農学部助教授を経て、1996年名古屋大学農学部教授。1999年同大学院生命農学研究科教授。2002年同大学院生命農学研究科長。2004年名古屋大学理事（研究・国際交流担当）・副総長。2009年同大学総長顧問。2011年から岡山大学理事・副学長（研究担当）（現職）。この間、大学評価・学位授与機構客員教授として大学評価システム開発に従事する。専門分野は森林科学。名古屋大学名誉教授。

川端 和重(かわばた かずしげ)

北海道大学 理事・副学長



昭和 60 年 北海道大学理学研究科物理学博士課程修了（理学博士）、昭和 60 年 出光興産株式会社中央研究所入社。平成 6 年 北海道大学理学研究科 助教授、平成 14 年 北海道大学理学研究科 生物科学専攻 教授、平成 20 年 大学院先端生命科学研究院 研究院長、平成 23 年より現職。大学運営における研究戦略、産学・地域連携、人材育成を担当。

森田 育男(もりた いくお)

東京医科歯科大学理事・副学長 委託調査検討委員会委員



1975 年千葉大学薬学修士課程修了、1980 年東京大学で薬学博士取得。1985 年東京都老人総合研究所研究員を経て東京医科歯科大学助教授。2002 年東京医科歯科大学教授に就任、2009 年より東京医科歯科大学理事・副学長。その間、PMDA 専門委員、NEDO 評価分科会委員長、JST 若手自立作業部会委員を務める。炎症、再生医療などの基礎研究とともに、産学連携、研究不正などの研究に従事。

飯田 香緒里(いいた かおり)

medU-net 事務局長、東京医科歯科大学教授



中央大学法学部卒業。専門分野は、知的財産権法及び産学連携活動に関するリスクマネジメントの研究。2005 年国立大学法人東京医科歯科大学入職後、2011 年産学連携研究センター長、2014 年より現職。産学連携活動推進並びに、利益相反マネジメントを含む産学連携コンプライアンス教育及び研究に従事している。現在、経済産業省産業構造審議会知的財産分科会委員、文部科学省科学技術・学術審議会委員、日本内科学会利益相反委員、産学連携学会副会長に従事している。

野口 義文(のぐち よしふみ)

立命館大学研究部事務部長 立命館大学産学官連携戦略本部副本部長



1986 年立命館大学法学部卒業。2005 年立命館大学 BKC リエゾンオフィス課長、2008 年立命館 大学研究部次長、2009 年立命館大学研究部事務部長、2013 年立命館大学産学官連携戦略本部副本部長(兼務)、現在に至る。

2011 年度 JST イノベーションコーディネータ賞受賞。文部科学省科学技術・学術審議会専門委員、JST イノベーション人材育成委員会委員、理化学研究所事務アドバイザー・カウンシル委員等を務め、更に 2016 年からは大阪府下の茨木市産業振興アクションプラン推進委員会委員長として地方創生業務にも従事。現在立命館大学研究部職員約 200 名の責任者として、研究高度化を牽引。

4.5 各日程のタイムスケジュール

各日程のタイムスケジュールは以下のとおりです。

(1) パターン1：「A 日程」(経営管理・支援型) (1/14～15)

<1 日目：1/14 (土) >

時間	パート	内容
14:30- 14:35	オープニング (アイスブレイク)	・ セッション概要説明 ・ 講師紹介
14:35- 15:50	1st セッション	講師講演 「自機関の研究戦略と URA ミッション」 (講師: 岡山大学 山本進一 理事・副学長) グループディスカッション(※テーブル毎に実施)
15:50- 16:05	休憩	
16:05- 17:20	2nd セッション	講師講演 「自機関の URA キャリアパス確立と予算確保」 (講師: 北海道大学 川端和重 理事・副学長) グループディスカッション(※テーブル毎に実施)
17:20- 17:50	1st, 2nd 合同セッション	1st セッション、2nd セッションのディスカッション内容に関する 発表・意見交換(※各テーブルの代表者にご発表いただきます)
17:50- 18:00	連絡事項等	
18:30- 20:00	懇親会(予定)	任意参加

(注) 講演タイトル・講師は予定であり、若干変更になる可能性がありますので、ご了承ください。

<2 日目：1/15 (日) >

時間	パート	内容
10:00- 10:05	オープニング	・ セッション概要説明 ・ 講師紹介
10:05- 11:35	3rd セッション	講師講演 「URA と URA システムの将来像」 (講師: 岡山大学 山本進一 理事・副学長) グループディスカッション(※テーブル毎に実施)
11:35- 11:55		3rd セッションのディスカッション内容に関する 発表・意見交換 (※各テーブルの代表者にご発表いただきます)
11:55- 12:00	クロージング	・ 事後課題の提示 ・ 共通日程の案内

(注) 講演タイトル・講師は予定であり、若干変更になる可能性がありますので、ご了承ください。

(2) パターン2：「B-1 日程」(医療系特化型) (1/21, 1/22)

<1 日目：1/21 (土) >

時間	パート	内容
13:00- 13:05	オープニング (アイスブレイク)	・ セッション概要説明 ・ 講師紹介
13:05- 14:05	1st, 2nd 合同セッション	講師講演 「自機関の研究戦略と URA ミッション」 (講師: 東京医科歯科大学 森田育男 理事・副学長)
		講師講演 「自機関の URA キャリアパス確立と予算確保」 (講師: 東京医科歯科大学 飯田香緒里 教授)
14:05- 14:20	休憩	
14:20- 16:20	1st, 2nd 合同セッション	グループディスカッション(※テーブル毎に実施) 1st, 2nd 合同セッションのディスカッション内容に関する 発表・意見交換(※各テーブルの代表者にご発表いただきます)
16:20- 16:30	連絡事項等	
17:00- 18:30	懇親会(予定)	任意参加

(注1) 1 日目は「B-2 日程」とタイムスケジュールやテーマは同一ですが、募集対象となる機関の属性と担当講師が異なります。(ただし、懇親会は「B-2 日程」参加機関と共通で開催します)

(注2) 講演タイトル・講師は予定であり、若干変更になる可能性がありますので、ご了承ください。

<2 日目：1/22 (日) >

時間	パート	内容
10:00- 10:05	オープニング	・ セッション概要説明 ・ 講師紹介
10:05- 11:35	3rd セッション	講師講演 「URA と URA システムの将来像」 (講師: 岡山大学 山本進一 理事・副学長)
		グループディスカッション(※テーブル毎に実施)
11:35- 11:55		3rd セッションのディスカッション内容に関する 発表・意見交換 (※各テーブルの代表者にご発表いただきます)
11:55- 12:00	クロージング	・ 事後課題の提示 ・ 共通日程の案内

(注1) 2 日目は「B-2 日程」と共通で実施します。

(注2) 講演タイトル・講師は予定であり、若干変更になる可能性がありますので、ご了承ください。

(3) パターン3：「B-2 日程」(特定業務専門型) (1/21, 1/22)

<1 日目：1/21 (土) >

時間	パート	内容
13:00- 13:05	オープニング (アイスブレイク)	・ セッション概要説明 ・ 講師紹介
13:05- 14:05	1st, 2nd 合同セッション	講師講演 「自機関の研究戦略と URA ミッション」 (講師:立命館大学 野口義文 事務部長)
		講師講演 「自機関の URA キャリアパス確立と予算確保」 (講師:立命館大学 野口義文 事務部長)
14:05- 14:20	休憩	
14:20- 16:20	1st, 2nd 合同セッション	グループディスカッション(※テーブル毎に実施) 1st, 2nd 合同セッションのディスカッション内容に関する 発表・意見交換(※各テーブルの代表者にご発表いただきます)
16:20- 16:30	連絡事項等	
17:00- 18:30	懇親会(予定)	任意参加

(注1) 1 日目は「B-1 日程」とタイムスケジュールやテーマは同一ですが、募集対象となる機関の属性と担当講師が異なります。(ただし、懇親会は「B-1 日程」参加機関と共通で開催します)

(注2) 講演タイトル・講師は予定であり、若干変更になる可能性がありますので、ご了承ください。

<2 日目：1/22 (日) >

時間	パート	内容
10:00- 10:05	オープニング	・ セッション概要説明 ・ 講師紹介
10:05- 11:35	3rd セッション	講師講演 「URA と URA システムの将来像」 (講師:岡山大学 山本進一 理事・副学長)
		グループディスカッション(※テーブル毎に実施)
11:35- 11:55		3rd セッションのディスカッション内容に関する 発表・意見交換 (※各テーブルの代表者にご発表いただきます)
11:55- 12:00	クロージング	・ 事後課題の提示 ・ 共通日程の案内

(注1) 2 日目は「B-1 日程」と共通で実施します。

(注2) 講演タイトル・講師は予定であり、若干変更になる可能性がありますので、ご了承ください。

(4) 「共通日程」(3/25) ※シンポジウムと同時開催。

<3/25 (土) >

時間	パート	内容
13:00- 13:10	シンポジウム開会の 挨拶	
13:10- 14:30	基調講演、 調査報告等	有識者からの基調講演、三菱総合研究所からの調査報告など (※詳細については調整中)
14:30- 14:50	休憩	
14:50- 16:50	4th セッション	事後課題への取り組み結果・成果発表(※テーブル毎に実施) 4rd セッションのディスカッション内容に関する発表・意見交換 (※各テーブルの代表者にご発表いただきます)
16:50- 17:00	シンポジウム閉会の 挨拶	

(注1) 4th セッションでは、前半はテーブル毎に事後課題の取り組み結果・成果発表とそれに関するディスカッションを実施していただき、後半は各テーブル代表者に議論のポイントをご発表いただく予定です。

(注2) 一般参加(大学等関係者)を含むシンポジウムと同時開催する予定です。4th セッションのディスカッションについては、一般参加の大学等関係者がオブザーバとして参加する予定です。

(注3) 基調講演や調査報告部分のプログラムは現在調整中です。参加者の皆様には確定次第ご連絡いたします。また、プログラム構成は変更になる可能性がありますので、ご了承ください。